



# 片峯誠市長逝去

片峯誠市長が、9月25日に67歳で逝去されました。  
平成29年2月に飯塚市長に就任され、  
令和3年2月から2期目を務められていました。



片峯市長は、昭和57年4月に飯塚市立飯塚第一中学校の教諭として、教育者のキャリアをスタートし、以来、飯塚市内及び現嘉麻市の中学校教頭、校長、福岡県筑豊教育事務所副所長を務められたのち、平成22年5月に飯塚市教育委員会教育長に就任され、本市の学校教育に極めて大きなご貢献をいただきました。

平成29年2月に飯塚市長に就任されてからは、「すべては市民と、その未来のために」幸せを分かち合えるまちづくり」を信条として、本市の発展のため邁進されました。

「福祉・健康のまちづくり」の分野では、いづつかスポーツ・リゾートや飯塚市総合体育館の開場を実現し、施設の活用と健康づくりの取組を併せ、文化・スポーツが盛んなまち、高齢者が元気で活躍できるまちを目指して取組を進められました。

「活力あるまちづくり」の分野では、八木山バイパス4車線化整備を推進し、併せて飯塚市地方卸売市場跡地の活用による「商都いづか」の復活を目標に掲げ、ゆめタウン飯塚や沢井製薬株式会社新工場建設を

はじめとする企業誘致活動により、大きな雇用の場が生まれました。市外から人が訪れ、市民との交流も活発な場所、また、働く場所・住む場所として選んでいただけるよう、住み続けていただけるよう、元氣な飯塚市の実現に取組んでこられた結果、本年5月に「本当に住みやすい街大賞2023 in福岡」において「新飯塚エリア」が県内第3位の評価を受けることとなりました。

そして、「教育のまちづくり」の分野では、小中一貫教育の推進、IT活用による個別化・個性化教育の実施、体験型学習施設の設置、子ども図書館創設の計画など、未来を担う子どもたちのための多くの施策を展開され、子育てができるまちとしても認知度が高まりました。また、文化面ではコスモスコモンの改修事業を実施し、嘉穂劇場については、これまでと同様の活用ではなく、新たなエンターテインメント施設として活用することで市文化活動の拠点とする方針を打ち出されました。

片峯市長の数々のご功績に感謝と敬意を表します。6年間ありがとうございました。

## 略歴

- 昭和57年4月 飯塚市立飯塚第一中学校教諭
- 平成 3年4月 飯塚市立鎮西中学校教諭
- 平成 9年4月 福岡県筑豊教育事務所指導主事
- 平成10年4月 飯塚市立鎮西中学校教頭
- 平成13年4月 嘉穂町立嘉穂中学校教頭
- 平成16年4月 穂波町立穂波西中学校校長
- 平成20年4月 飯塚市教育委員会学校教育課長
- 平成22年4月 福岡県筑豊教育事務所副所長
- 平成22年5月 飯塚市教育委員会教育長（1期目）
- 平成26年5月 飯塚市教育委員会教育長（2期目）
- 平成29年2月 飯塚市長（1期目）
- 令和 3年2月 飯塚市長（2期目）



R5.7 飯塚山笠



R5.7 ゆめタウン飯塚グランドオープン



H29.2 初登庁



飯塚市総合体育館 落成式  
R5.4 総合体育館落成式



H29.2 初登庁



R.4.6 ふるさと応援大使任命式



H29.10 I LOVE 遠賀川



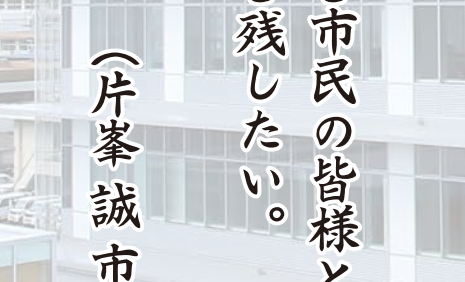
R4.5 九州市長会



H29.11 100キロウォーク



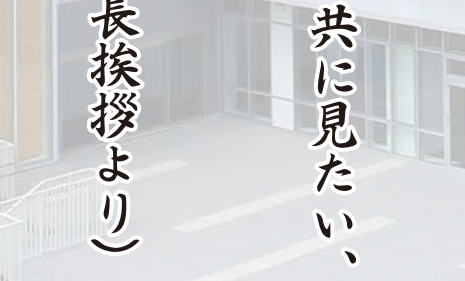
R4.4 知事とイキイキトーク



H30.5 国際車いすフェアセレブション



飯塚市ブロックチェーン推進宣言  
R3.11 ブロックチェーン推進宣言



H31.1 出初式



沢井製薬株式会社立地協定締結式  
R3.10 沢井製薬株式会社立地協定締結式



コロナ対策呼びかけ  
R2.8 コロナ対策呼びかけ



ふるさと応援大使任命式  
H31.3 ふるさと応援大使任命式

未来に向かって発展していくこのまちを市民の皆様と共に見たい、  
このまちの未来につながっていくものを残したい。

(片峯誠市長挨拶より)